

記者発表

問い合わせ先
財団法人 関西社会経済研究所
武者(ムサ)
TEL : 06 - 6441 - 0145

2008年7月8日

「大阪湾岸大型設備投資の経済波及効果」の発表について

財団法人関西社会経済研究所(会長 下妻博)は、関西学院大学経済学部教授 高林喜久生氏(当研究所マクロ経済分析プロジェクト主査)の指導の下、当研究所が作成した関西地域間産業連関表を用いて「大阪湾岸大型設備投資の経済波及効果」を推計しましたので、その結果を発表いたします。

対象とした設備投資と初期投資額

- ・シャープ堺工場(大阪府) : 4,520 億円(土地代込み。太陽電池工場含む)
- ・IPS アルファテックノロジ姫路工場(兵庫県) : 3,000 億円(土地代込み)
- ・松下電器産業尼崎第3・4・5工場(兵庫県) : 計5,500 億円(同上)
- ・住友金属和歌山製鉄所の新高炉(和歌山県) : 2,500 億円(土地代抜き)

これらはいずれも2007年度に公表された設備投資のうち、投資額で全国ベスト10に入る。

初期投資による効果

- (1) これらの投資によって、関西2府5県の生産額は1.4兆円増加。内訳は、大阪府6,000億円、兵庫県5,300億円、和歌山県1,700億円など(10億円の位を四捨五入。以下同じ)。設備投資別では、シャープ堺によって3,700億円、IPS アルファテックノロジ姫路2,600億円、松下電器尼崎4,900億円、住友金属和歌山2,700億円(図表3)。
- (2) 付加価値額(GRPベース)では、関西全体で7,500億円増加(関西の名目GRPの0.9%に相当)。設備投資別では、シャープ堺によって2,000億円、IPS アルファテックノロジ姫路1,400億円、松下電器尼崎2,600億円、住友金属和歌山1,500億円(図表7)。

製品出荷による効果(フル稼働時)

- (1) これらの設備稼働(製品出荷)によって、関西の生産額は3兆7,700億円増加。内訳は大阪府1兆4,800億円、兵庫県1兆8,700億円、和歌山県2,300億円など。設備投資別では、シャープ堺1兆4,200億円、IPS アルファテックノロジ姫路8,900億円、松下電器尼崎1兆2,300億円、住友金属和歌山2,200億円(図表5)。
- (2) 付加価値額(GRPベース)では、関西全体で1兆5,300億円(関西の名目GRPの1.8%に相当)。設備投資別では、シャープ堺6,200億円、IPS アルファテックノロジ姫路3,500億円、松下電器尼崎4,900億円、住友金属和歌山700億円(図表9)。

ご参考

全国表（経済産業省作成）を用いて日本経済全体への効果を計算すると、初期投資によって全国に 3.2 兆円の生産が誘発される。これは GDP ベースで 2.2 兆円。また、製品出荷によって全国に 5.4 兆円の生産が誘発される。これは GDP ベースで 3.8 兆円となる(参考図表 1、参考図表 2)。

日本総合研究所関西経済研究センターは、シャープ堺工場、IPS アルファテクノロジー姫路工場、松下電器尼崎工場の初期投資および製品出荷の関西における効果(GRP ベース)を 2.8 兆円と試算(日本経済新聞 2008 年 3 月 20 日)。

宮本勝浩関西大学教授と韓池大阪府立大学准教授は、シャープ堺工場の初期投資の堺市における効果を GRP ベースで 3,900 億円、製品出荷で 8,000 億円と試算(2007 年 8 月 8 日発表)。

以上